

第4回 ヘレニズム、アキレスと亀

- | | | |
|------|--|----------------|
| 1 A | アレキサンドロス大王の東方遠征以後に生まれた、オリエント文明とギリシア文明の融合文化に由来する「ギリシア風」という意味のことばを何というか。 | ヘレニズム |
| 2 B | アレキサンドロス大王の東征以後、ポリスの崩壊にともなって生まれた、ポリスを越えた市民という意味のことばを何というか。 | 世界市民(コスモポリテース) |
| 3 A | 人生の目的は快楽であり、魂に煩わしさのない境地が理想であると説いた前4〜3世紀の哲学者は誰か。 | エピクロス |
| 4 A | ヘレニズム期に、人生の目的を快楽に求めた学派を何というか。 | エピクロス派 |
| 5 B | 人生の目的は快楽であり、快楽は善であるという思想を何というか。 | 快楽主義 |
| 6 A | エピクロス派の人びとが求めた理想の境地で、瞬間的・肉体的な快楽でない永続的・精神的な快楽である、魂に煩わしさのない平静心を何というか。 | アタラクシア |
| 7 B | 平静心を乱す政治的・公共的生活からは離れて生きることを説いた、エピクロス派の人びとの生活信条をしめすことばは何というか。 | 「隠れて生きよ」 |
| 8 A | 世界理性の支配する自然にしたがって生きること、そしてそのためには情念を抑えることを説いた前4〜3世紀の哲学者は誰か。 | ゼノン |
| 9 A | ゼノンを開祖とする学派を何というか。 | ストア派 |
| 10 A | ストア派のように、欲望を抑制することを正しいと考える思想を何というか。 | 禁欲主義 |
| 11 A | ストア派の人々が求めた、外的な刺激や快苦などによってまどわされない、情念が抑制された境地を何というか。 | アパテイア |
| 12 B | ストア派が語る自然界を貫いている神の摂理であり、人間の本性もそれを分けもつことによって人間となる理法のことを何というか。 | 世界理性(ロゴス) |
| 13 B | 自然を貫く理法は人間をも貫いていることから、理性にしたがって生きることと同じ意味をもつ、ストア派が理想とする生活信条を何というか。 | 「自然にしたがって生きる」 |
| 14 C | 前1世紀の奴隷出身の哲学者で、後期ストア派の代表的思想家は誰か。 | エピクテトス |
| 15 C | エピクテトスの影響を受けて内面的思索を重んじたストア派の哲学者で、ローマ皇帝でもあった人物は誰か。 | マルクス＝アウレリウス |
| 16 C | ストア派の思想を今日によく伝えているマルクス＝アウレリウスの著作を何というか。 | 『自省録』 |